



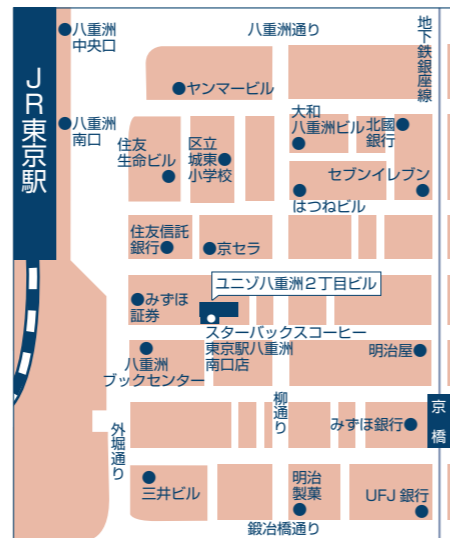
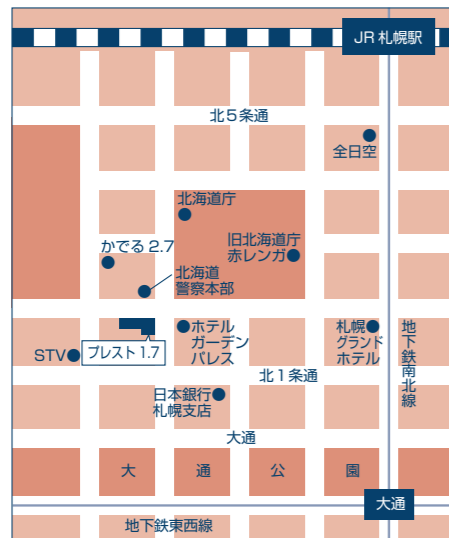
[公益財団法人アイヌ民族文化財団とは…]

平成 9 年 5 月、アイヌ文化の振興等を行い、アイヌの人たちの民族としての誇りが尊重される社会の実現と、我が国の文化の多様な発展を図ることを目的とする「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律」が制定され、同年 7 月から施行されました。

当公益財団は、平成 9 年 7 月、北海道札幌市内に事務所を、同年 9 月には東京都内にアイヌ文化交流センターを開設し、この法律に基づき、アイヌ文化の振興、アイヌの伝統やアイヌ文化に関する知識の普及・啓発などの事業を実施しています。

●公益財団法人アイヌ民族文化財団
〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7 (5階)
TEL.011-271-4171 FAX.011-271-4181
ホームページ <http://www.frpac.or.jp>
e-mail:ainu@frpac.or.jp

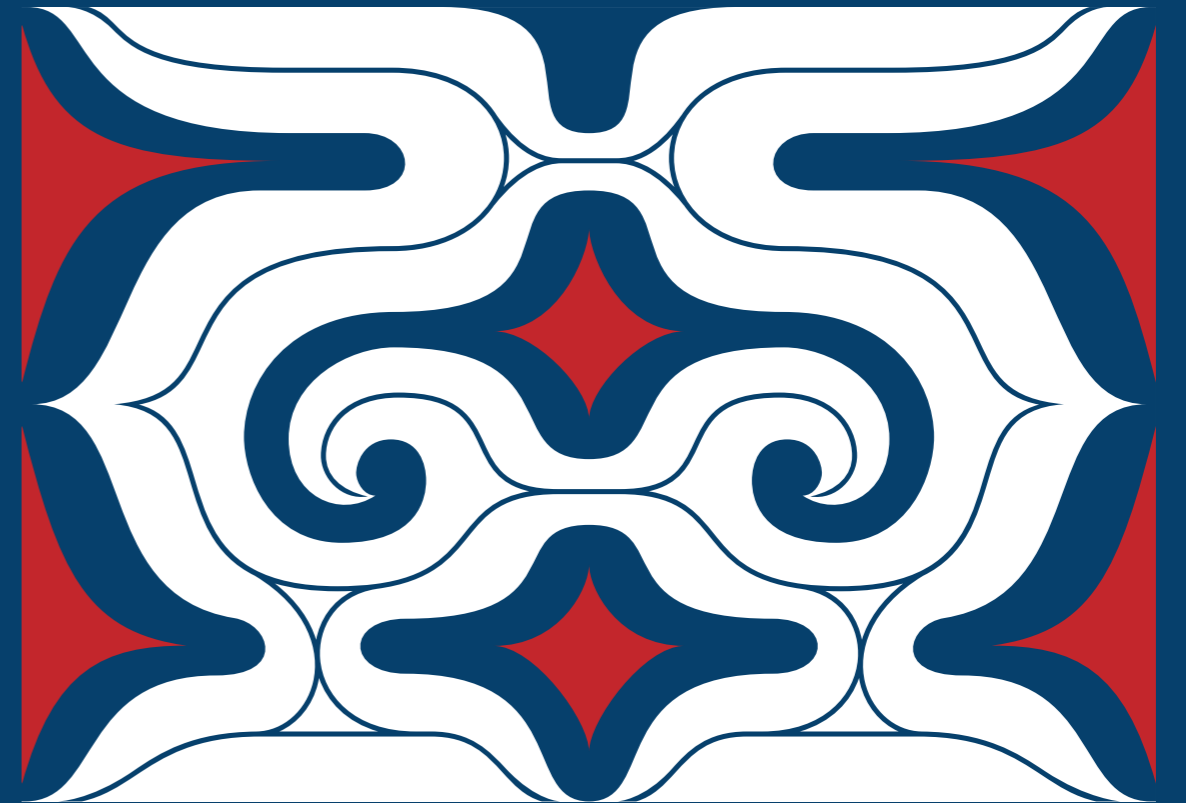
●アイヌ文化交流センター
〒104-0028 東京都中央区八重洲2丁目4番13号
ユニゾ八重洲2丁目ビル(3階)
TEL.03-3245-9831 FAX.03-3510-2155
e-mail:acc-tokyo@frpac.or.jp



平成30年度 10月▶12月(vol.3)

アイヌ語ラジオ講座

Ainu radio course



STVラジオ

本放送 毎週日曜日 あさ 7:00~7:15
再放送 毎週土曜日 よる 23:45~24:00

STVラジオのホームページでこれまでの放送を聴くことができます。
<http://www.stv.jp/radio/ainugo/>

講師 関根 摩耶

Vol.3

公益財団法人アイヌ民族文化財団

はじめに

アイヌ語は、アイヌの人たちが話してきた独自の言語です。今でも、私たちが普段から身近に触れているアイヌ語として「地名」があります。アイヌ語が由来とされる地名は、北海道をはじめ、サハリンや千島列島、それに東北地方にも数多く残されています。地名の他にも、「エトピリカ」「ラッコ」「トナカイ」など、アイヌ語として意識されずに使われている言葉が多くあります。

現在では、アイヌ語の話者は減少し、アイヌ語を日常会話の言語として使われることが、ほとんどなくなってきました。それでも祖先から伝えられてきた言葉を残していこうと、地域においてさまざまな活動が行われています。

この「アイヌ語ラジオ講座」では、初心者向けのやさしいアイヌ語の講座をラジオで放送しております。多くの方々がアイヌ語に触れるきっかけとして、また、初級のアイヌ語を学習する機会として、平成10年よりさまざまな講師をお招きして開講しております。

平成30年度は、4月から1年間にわたって、講師に平取町出身の関根摩耶さんをお迎えして、アイヌ語の「沙流方言」を学んでいきます。

さあ、私たちと一緒に、アイヌ語の世界をのぞいてみませんか。

平成30年4月

「アイヌ語ラジオ講座」テキスト vol.3 目次

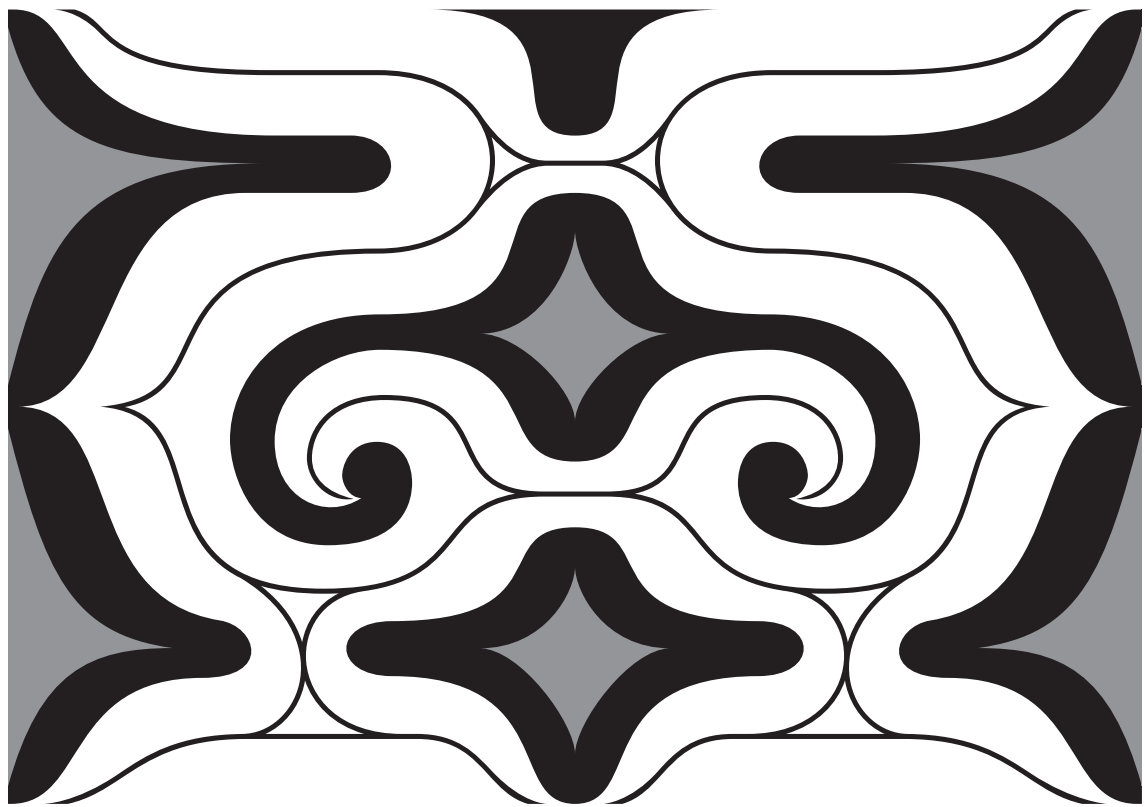
テキストは3か月ごとに発行しています。

講師の紹介	2P
講座のスケジュール	3P
レッスン28～40	4P
収録テープ等の貸出について	30P
アンケート	31P
会員募集のお知らせ	33P

平成30年度 10月▶12月(Vol.3)

アイヌ語ラジオ講座

Ainu radio course



講師

関根 摩耶

Vol.3



せき ね ま や
関 根 摩 耶

アイヌ民族の大学生。
幼少の頃からアイヌ語に親しみ、アイヌ語弁論大会で2度の最優秀賞受賞経験を持つ。
「アイヌ語小文字発音講座」（どうしん電子版、2017年8月～）の音声を担当する。

支援研究者

せき ね けん じ
関 根 健 司

平取町立二風谷アイヌ文化博物館
学芸員補

【このテキストのアイヌ語と表記の仕方について】

現在のところアイヌ語には共通語というものはなく、それぞれの地域でそれぞれの方言が学ばれています。そのため、このテキストでは担当講師の方言（沙流方言）をベースにしています。

スケジュール

月	日	レッスン	テーマ	ページ
10 月	7日	28	カムイカルシ 松茸	4
	14日	29	ヤム トウイ ナンコン ナ クリが落ちただろう	6
	21日	30	ウパシ キキリ ゆきむし	8
	28日	31	エムシコロペ 警察	10
11 月	4日	32	イテセ ござ編み	12
	11日	33	28~32までの復習	14
	18日	34	ウオシッコテ パ コロ 恋をすると	16
	25日	35	パシクル ハウコロ カラスが鳴く	18
12 月	2日	36	イカラシ ナ！ もったいないなあ！	20
	9日	37	イタクラマツ 言葉の魂	22
	16日	38	特別レッスン 宇梶 ニシパ トウラノ ウエネウサラシ クス ネ！ 宇梶さんといろんなことを語り合います！	24
	23日	39	イコロ カムイ シリ エシニウカ 宝の神が土地に飽きる	26
	30日	40	34~37、39の復習	28



会 話

- ・ オノンノ！ ポロ カムイカルシ アン！ やったあ！ デカイ松茸があった！
 ononno! poro kamuykarus an!
 やったあ 大きな 松茸 ある
- ・ ハウサクノ アン、ネンカ アン ヤク ウェン。 黙って、誰かいたらマズイから。
 hawsakno an, nen ka an yak wen.
 黙って いる 誰か いる ~すると 悪い
- ・ アチカラ！ タンペ チクニアニ アカラ ペ ネ！ なんだ！ こりゃ木で作ったもんだ！
 acikara! tanpe cikuni ani a=kar pe ne!
 なんだあ これ 木 ~で 人・~を作る 物 ~である

単 語

	アイヌ語	日本語訳
オノンノ	ononno	やった
ポロ	poro	大きな
カムイカルシ	kamuykarus	松茸(マツタケ)
アン	an	ある、いる
ハウサクノ	hawsakno	黙って
ネンカ	nen ka	誰か
ヤク	yak	~すると
ウェン	wen	悪い
アチカラ	acikara	なんだあ
タンペ	tanpe	これ
チクニ	cikuni	木
アニ	ani	~で
ア	a=	人(が、は、の)
カラ	kar	~を作る
ペ	pe	物
ネ	ne	~である

カルシ (karus・きのこ)

この会話は二風谷の彫刻家が木でマツタケを彫り、本物のように山に植えて来て、次の日マツタケを採りに来た人を驚かせた、という実話をもとにしています。二風谷周辺の山はマツタケが出るのでシーズンになると多くの人が毎日山に入ります。

きのこのことをアイヌ語で、カルシといいます。マツタケは何故かカムイカルシ (神・きのこ)、マイタケは、ユクカルシ (熊・きのこ) といいます。シイタケは、ペロカルシ (ナラ・きのこ)、タモギダケは、チキサニカルシ (ハルニレ・きのこ)、ヒラタケは、ケネカルシ (ハンノキ・きのこ) と言われ、はえる木によって命名されることが多いようです。

MEMO





ヤム トウイ ナンコン ナ クリが落ちただろう

会 話

ウクラン レラ ルイ ワ ヤム トウイ ナンコン ナ、
ukuran rera ruy wa yam tuy nankor_na,
昨夜 風 強い ~して 栗 落ちる ~だろうよ

ホクレ アラパ ワ ウオマレ ワ エク。
hokure arpa wa uomare wa ek.
早く 行く ~して ~を集める ~して 来る

昨夜は風が強かったのでクリが落ちたであろうから早く行って集めて来い。

「萱野茂のアイヌ語辞典」より

単 語

	アイヌ語	日本語訳
ウクラン	ukuran	昨夜、ゆうべ
レラ	rera	風
ルイ	ruy	強い
ワ	wa	~して
ヤム	yam	栗
トウイ	tuy	落ちる
ナンコロ	nankor	~だろう
ナ	na	~よ
ホクレ	hokure	早く
アラパ	arpa	行く
ウオマレ	uomare	~を集める
エク	ek	来る

解 説

「ナンコロ・~だろう」の後に「ナ・~よ」がくると「ナンコン ナ」という発音になります。この文末のナは、~だから~しろ、~してくれ、という命令のような意味合いまで含みます。ですから、ヤム トウイ ナンコン ナ・クリが落ちたであろうから、と言われた時点で話しかけられている人は次に「アラパワ ウオマレ ワ エク・行って集めて来い」のような言葉が続くと予想できるような表現です。

平取にクリが自生している理由

平取町には野生のクリの木がありますが自生地としては、このあたりがその北限のようです。そして、その理由を説明するようなウエペケレ（散文説話）が伝承されています。

日高山脈の最高峰、幌尻岳(ポロ・大きな シリ・山)の神様には奥さんがいましたが、幌尻岳の神の浮気が激しいので奥さんは本州の真ん中あたりまで逃げてしまいました。しかし、その時点で奥さんは幌尻岳の神の子どもを身ごもっていたのです。本州で子どもを産み、一人で育てたのですが、その息子があつていど大きくなった時に「実はお前の父親はあの北海道の幌尻岳の神様なのだよ」ということを打ち明けました。それを聞いた息子は「じゃあ、僕、その父親に会いに行くよ」ということで大きな袋にクリを沢山詰め込み、食べながら、ばら撒きながら幌尻岳までやって来たのでこの辺りまでクリが自生しているのだ、というお話しです。息子は晴れて父親と会うことが出来たのですが、それも束の間、父親である幌尻岳の神は翌日には神の国に帰ることになっており、すぐに別れがやってきます。そして父親に代わって到着したばかりの息子が幌尻岳を守護する神の座を引き継ぐことになるのです。

このお話しは鳩沢ワテケさんや平賀サダモさんの語りで残っています。

MEMO





ウパシ キキリ

ゆきむし

会 話

ウパシキキリ アヌカラ ワ シネ チュプ ネ コロ
 upaskikir a=nukar wa sine cup ne kor
 ゆきむし 人・～を見る ～して 1か月 ～になる ～すると

ソンノ ウパシ アシ ペ ネ
 sonno upas as pe ne
 本当に 雪 降る もの ～である

ゆきむしが見えてから1か月すると本当の雪が降るものだよ

「萱野茂のアイヌ語辞典」より

単 語

	アイヌ語	日本語訳
ウパシキキリ	upaskikir	ゆきむし
ア	a=	人、誰か(が、は、の)
ヌカラ	nukar	～を見る
ワ	wa	～して
シネ チュプ	sine cup	1か月
ネ	ne	～になる、～である
コロ	kor	～すると
ソンノ	sonno	本当に
ウパシ	upas	雪
アシ	as	降る
ペ	pe	もの

コラム14

ウパシキキリ (upaskikir・ゆきむし)

アイヌ語でもウパシ・雪 キキリ・虫、と同じ呼び方をするこの虫が日の光の中で群舞する姿は本当に幻想的であり、また迫りくる雪の季節の到来を予感させて気が引き締まる思いがします。この虫の正式和名は「トドノネオオワタムシ」。我われが10月頃に見るのはトドマツから冬の住み家のヤチダモへ集団引っ越しをしている姿です。アイヌの言い伝えでも、「ウパシキキリ アッ コハル アン・この虫が多いと豊作である、や ウパシ アシ・雪が降る(多い)」ということが言われたようです。

MEMO





会 話

エムシコロペ エク ナ! ホクレ キラ!
 emuskorpe ek na! hokure kiral
 警察 来た ~ぞ 早く 逃げろ

カニ ペツ トウラシ カラパ クス
 kani pet turasi k=arpa kusu
 私 川 ~に沿って上へ 私・行く ~ので

エアニ ペツ ペシ エサン ヤク ピリカ!
 eani pet pes e=san yak pirkal
 あなた 川 ~に沿って下へ あなた・下る ~すると よい

- 警察がきたぞ! 早く逃げろ!
- 俺は川上に行くから、お前は川下さがに下れ!

単 語

アイヌ語		日本語訳
・エムシコロペ	emuskorpe	警察
・エク	ek	来る
・ナ	na	~だぞ
・ホクレ	hokure	早く
・キラ	kira	逃げる
・カニ	kani	私
・ペツ	pet	川
・トウラシ	turasi	~に沿って川上の方へ
・ク	k=(u)	私(が、は、の)
・アラパ	arpa	行く
・クス	kusu	ので
・エアニ	eani	あなた
・ペシ	pes	~に沿って川下の方へ
・エ	e=	あなた(が、は、の)
・サン	san	下る
・ヤク	yak	~すると
・ピリカ	pirka	よい



会 話

- ・ イテセ エアシカイ ペ イテセ コロ エソイネ ワ カ
 itese easkay pe itese kor esoyne wa ka
 ゴザ編み ~が上手 者 ゴザを編む ~すると 外で ~から ~でも
- ピッ フム アヌ プ ネ
 pit hum a=nu p ne
 小石 音 人・~を聞く もの ~である

ござ編みの上手な者がござを編んでいると、家の外からでも重り石の音が聞こえるものだよ

「萱野茂のアイヌ語辞典」より

単 語

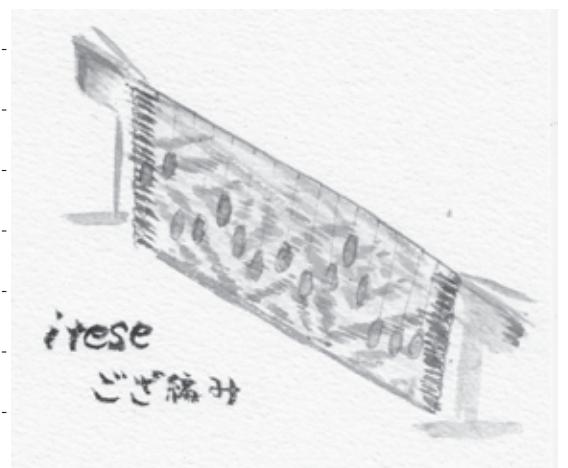
アイヌ語		日本語訳
イテセ	itese	ゴザ編み(をする)
エアシカイ	easkay	~が上手
ペ	pe	者
コロ	kor	~すると
エソイネ	esoyne	外で
ワ	wa	~から
カ	ka	~でも
ピッ	pit	小石
フム	hum	音
ア	a=	人(が、は、の)
ヌ	nu	~を聞く
プ	p	もの
ネ	ne	~である

コラム16

ピッ (pit・小石)

「ピッ」とは小石のことですが、少し細長い物を河原などから集めて来て、糸を巻き付け、イテセニ(ゴザ編み機)を使って、トマ(ゴザ)や、サラニア(背負い袋)などを編む時に使います。このピッを1段ごとに前、後ろ、前、後ろ、と移動させることで編みこんでいきます。この時に移動させた石と元からぶら下がっていた隣の石がぶつかって音が出ます。昔のコタンは静かでしょうから、ゴザ編みが上手な人が仕事をする時に出す、ピッの音は小気味よく、心地よいリズムをコタンに響かせたのでしょう。

大昔のゴザはもちろん残っていませんが、このピッが12世紀の遺跡からまともな状態で複数出土しています。このことはその当時からすでに同じ方法で、トマやサラニア作りが行われていたことを示すものです。





28 ~ 32までの復習

28・カムイカルシ

松茸

- ・ オノンノ！ ポロ カムイカルシ アン！ やったあ！デカイ松茸があった！
 ononno! poro kamuykarus an!
 やったあ 大きな 松茸 ある

- ・ ハウサクノ アン、ネンカ アン ヤク ウエン。 黙って、誰かいたらマズイから。
 hawsakno an, nen ka an yak wen.
 黙って いる 誰か いる ~すると 悪い

- ・ アチカラ！ タンペ チクニ アニ アカラ ペ ネ！ なんだ！こりゃ木で作ったもんだ！
 acikara! tanpe cikuni ani a=kar pe ne!
 なんだあ これ 木 ~で 人・~を作る 物 ~である

29・ヤム トウイ ナンコンナ

クリが落ちただろう

- ・ ウクラン レラ ルイ ワ ヤム トウイ ナンコンナ、
 ukuran rera ruy wa yam tuy nankor_na,
 昨夜 風 強い ~して 栗 落ちる ~だろうよ

- ホクレ アラパ ワ ウオマレ ワ エク。
 hokure arpa wa uomare wa ek.
 早く 行く ~して ~を集める ~して 来る

昨夜は風が強かったのでクリが落ちたであろうから早く行って集めて来い。

30・ウパシ キキリ

ゆきむし

- ・ ウパシキキリアヌカラ ワ シネ チュプ ネ コロ
 upaskikir a=nukar wa sine cup ne kor
 ゆきむし 人・~を見る ~して 1か月 ~になる ~すると

- ソンノ ウパシ アシ ペ ネ
 sonno upas as pe ne
 本当に 雪 降る もの ~である

・ゆきむしが見えてから1か月すると本当の雪が降るものだよ

・ エムシコロペ エク ナ! ホクレ キラ!
 emuskorpe ek nal hokure kiral
 警察 来た ~ぞ 早く 逃げろ

・ カニ ペツ トウラシ カラパ クス
 kani pet turasi k=arpa kusu
 私 川 ~に沿って上へ 私・行く ~ので

エアニ ペツ ペシ エサン ヤク ピリカ!
 eani pet pes e=san yak pirka!
 あなた 川 ~に沿って下へ あなた・下る ~すると よい

・警察がきたぞ! 早く逃げろ!
 ・俺は川上に行くから、お前は川下に下れ!
さが

・ イテセ エアシカイ ペ イテセ コロ エソイネ ワ カ
 itese easkay pe itese kor esoyne wa ka
 ゴザ編み ~が上手 者 ゴザを編む ~すると 外で ~から ~でも

ピツ フム アヌ プ ネ
 pit hum a=nu p ne
 小石 音 人・~を聞く もの ~である

ござ編みの上手な者がござを編んでいると、家の外からでも重り石の音が聞こえるものだよ



ウオシッコテ パ コロ 恋をすると

会 話

・ テエタ アナクネ ペウレクル ウタラ ウオシッコテ パ コロ
 teeta anakne pewrekur utar uosikkote pa kor
 昔 ～は 若者 ～たち お互い恋する (複) ～すると

ネユンネユン カ シノッチャオロイタク パ プ ネ ア ワ。
 neyunneyun ka sinotcaoritak pa p ne a wa
 いろいろして 歌の中の言葉にする (複) もの ～である ～だった ～よ

ずうっと古い時代は若者たちが恋をするといろいろと歌の中へ言葉を入れたものであった。

「萱野茂のアイヌ語辞典」より

単 語

アイヌ語	日本語訳	
テエタ	teeta	昔
アナクネ	anakne	～は
ペウレクル	pewrekur	若者
ウタラ	utar	～たち
ウオシッコテ	uosikkote	お互い恋する
パ	pa	動詞の後ろに付いて複数形を作る
コロ	kor	～すると
ネユンネユン カ	neyunneyun ka	いろいろして
シノッチャオロイタク	sinotcaoritak	歌の中の言葉にする
プ	p	もの、こと
ネ	ne	～である
ア	a	～だった(過去のことを表す)
ワ	wa	～よ

解 説

「ウオシッコテ・お互い恋する」は日本語の、おしっこ を連想させる変な響きに感じますが、語源分解すると「ウ・お互いに オ・その端に シク・目 コテ・～に～を結びつける」で、好きで好きで目がくっついたかのように離せない、くびったけ、というニュアンスが伝わってくるとても表現力豊かな言葉です。

パ はいろいろな動詞の後に付いて複数形を作る言葉です。元から複数形の動詞に付くこともあります。

例

・パイェ パ・行く(複)+パ

・アラキ パ・来る(複)+パ

コラム17

シノッチャオロイタク (sinotcaoritak・歌の中の言葉にする)

アイヌの歌には、ヤイサマ・即興歌、イヨンノッカ・子守歌、イヨハイオチシ、ヤイカテカラなど恋歌、と訳されるものなどがあり、その場で自分の気持ちを盛り込んだ歌詞を歌いあげます。恋のせつなさや、生活の苦しみ、生きる喜びなど題材は広範囲に及び自由にそういった心情を表現します。

せつないヤイサマの代表的な歌詞の例

ヤイサマネナ	
ヤイサマネナ	
ヤイサマネナ	
ヤイサマネナ	
チカプ タ クネ	私は鳥になり
レラ タ クネ	私は風になり
ネワ ネ ヤクネ	そうすれば
ネワ ネ ヤクネ	そうすれば
タパン テワノ	今から
クキ ホプニ	飛び立ち
コロ ユポ トノ	愛しい人
コロ ユポ サマ	その傍に
クアラパルスイ	私は行きたい
クアラパルスイ	私は行きたい
ヤイサマネナ	
ヤイサマネナ	

MEMO





会 話

・ クンネイワノ チセ カ ウン パシクル ハウコロ。
 kunneywano cise ka un paskur hawkor.
 朝から 家 ~の上 ~へ カラス 鳴く

タント アナクネ ピリカ ヤント エク ナンコロ。
 tanto anakne pirka yanto ek nankor
 今日 ~は いい 客 来る ~だろう

朝から屋根の上へ鳥が声を出した。今日はいい客が来るであろう。

単 語

アイヌ語		日本語訳
クンネイワノ	kunneywano	朝から
チセ	cise	家
カ	ka	~の上
ウン	un	~へ、~から(音のする方向を表す)
パシクル	paskur	カラス
ハウコロ	hawkor	鳴く、声を出す
タント	tanto	今日
アナクネ	anakne	~は
ピリカ	pirka	よい
ヤント	yanto	客
エク	ek	来る
ナンコロ	nankor	~だろう

コラム18

セミタク (semitak・予言をする)

屋根の上のカラスの鳴き声で来訪者があることを知る、ということはよく言われることですし、カラスと話せる、という人も一昔前まではたくさんいたようです。ちなみにアイヌは、カララク (ハシボソガラス)と、シエパシクル・糞を食べるカラス(ハシブトガラス)を明確に区別しており、カララクは重要な神様だと見なしています。

アイヌ語にもセミタク (予言をする)、ヌプルクル (霊力のある人)、トゥスクル (呪術者)、ウエインカラ (透視する)というような言葉があり、昔のアイヌの社会ではこのような能力が非常に重要視され、それに頼る場面も多かったのでしょうか。





イカラシ ナ！ もったいないなあ！

会 話

- ・ タン ペコトペ コスラ クス ネ。
tan pekotope k=osra kusu ne.
この 牛乳 私・～を捨てる ～しますよ
 - ・ イカラシ ナ！ ナ アク エアシカイ ナンコロ。
ikaras nal na a=ku easkay nankor.
もったいない ～なあ まだ 人・～を飲む ～できる ～だろうに
- ・この牛乳捨てるよ。
・もったいないなあ！ まだ飲めるだろうに。

単 語

アイヌ語		日本語訳
タン	tan	この
ペコトペ	pekotope	牛乳
ク	k(u)=	私(が、は、の)
オスラ	osura	～を捨てる
クス ネ	kusu ne	～しますよ
イカラシ	ikaras	もったいない
ナ	na	～なあ
ナ	na	まだ
ア	a=	人、誰か(が、は、の)
ク	ku	～を飲む
エアシカイ	easkay	～できる
ナンコロ	nankor	～だろうに

コラム19

イカラシ (ikaras・もったいない)

「もったいない」は物を大事にする精神を表すとていい日本語で、外国語にはなかなかそれに当たる言葉がないとも言われています。しかしアイヌ語にはこの「イカラシ」という言葉があり、これがまさに日本語の「もったいない」に当たると言えます。物を大事にする精神は共に通じるところがあるのかもしれない。





会 話

・ アイヌ	イタク	アナクネ	ラマツ	コロ	ワ		
aynu	itak	anakne	ramat	kor	wa		
人間	言葉	～は	魂	～を持つ	～して		
コエトゥレンノ	ケマ	コロ	ペコロ	パラ	コロ	ペコロ	
koeturenno	kema	kor	pekor	par	kor	pekor	
～と合わせて	足	～を持つ	～かのように	口	～を持つ	～かのように	
イタクラマツ	シネンネ	アプカシ	ペ	ネ	ルウェ	ネ	ワ
itakramat	sinenne	apkas	pe	ne	ruwe	ne	wa
言葉の魂	一人で	歩く	もの	～である	なのだよ		

人間の言葉というものは魂を持っていて、それとともに足があるように、口があるように、言葉の魂がひとりで歩くものなのだよ。

「萱野茂のアイヌ語辞典」より

単 語

アイヌ語		日本語訳
アイヌ	aynu	人間
イタク	itak	言葉
アナクネ	anakne	～は
ラマツ	ramat	魂
コロ	kor	～を持つ
ワ	wa	～して
コエトゥレンノ	koeturenno	～と合わせて、～と一緒に
ケマ	kema	足
ペコロ	pekor	～かのように
パラ	par	口
イタクラマツ	itakramat	言葉の魂
シネンネ	sinenne	一人で
アプカシ	apkas	歩く
ペ	pe	もの
ネ	ne	～である
ルウェ	ruwe	なのだよ
ネ	ne	
ワ	wa	

イタク ラマツ (itak ramat・言葉の魂)

言葉が独り歩きするということは、言霊というものが存在し、発言した言葉に影響されて現実も変化してくるという考えでしょう。確かにマイナス思考の発言を繰り返していると全てがうまくいかなくなるような気がします。なるべくそういった発言は慎しみ、周りも自分も幸せにするようなことをたくさん言っていきたいですね。

MEMO



ネ！

宇梶さんといろんなことを語り合います！

MEMO





イコロ カムイ シリ エシニウカ 宝の神が土地に飽きる

会 話

・ 「ネンカ アヌン アコロ イコロ ホク ルスイ コロ
 “nenka anun a=kor ikor hok rusuy kor
 誰か よその人 私・～を持つ 宝 ～を買う ～したい ～すると

シリ エシニウカ ワ ネ ナンコロ クス アエイヨク ペ ネ」
 sir esiniwka wa ne nankor kusu a=eyyok pe ne”
 土地 ～に飽きる ～して ～になる ～だろう ～なので 私・～を売る こと ～である

シコロ オンネクル ウタラ ハウエオカ ヒ クヌ プ ネ
 skor onnekur utar haweoka hi ku=nu p ne
 ～と おじいさん ～たち 言う(複) ～したこと 私・～を聞く こと ～である

・誰か他人が私が持っている宝物を買いたいという。このことは宝物がこの土地に飽きたからであらうから売るものだと、老人たちが言っていたのを聞いたことがある。

「萱野茂のアイヌ語辞典」より

単 語

アイヌ語		日本語訳
ネンカ	nenka	誰か
アヌン	anun	よその人
ア	a=	私(か、は、の)〈引用文の中の私〉
コロ	kor	～を持つ
イコロ	ikor	宝
ホク	hok	～を買う
ルスイ	rusuy	～したい
コロ	kor	～すると
シリ	sir	土地
エシニウカ	esiniwka	～に飽きる
ワ	wa	～して
ネ	ne	～になる、～である
ナンコロ	nankor	～だろう
クス	kusu	～なので
エイヨク	eyyok	～を売る
ペ	pe	こと
シコロ	skor	～と〈セコロの音が変化した形〉
オンネクル	onnekur	おじいさん
ウタラ	utar	～たち
ハウエオカ	haweoka	言う(複)〈単数形は ハウエアン〉
ヒ	hi	～したこと
ク	k(u)=	私(が、は、の)
ヌ	nu	～を聞く
プ	p	こと

シリ エシニウカ(sir esiniwka・土地に飽きる)

アイヌの伝統的な考え方では道具も神様であってそれぞれに個性があり感情があるものだと思われています。ですから誰かから何かを売ってくれ、という話があった時点で自分が持っている道具(宝)がもうそろそろ、よそへ移りたいと思っているということかもしれない、と考えるのでしょうか。和人にアイヌの宝を安く買い叩かれてきた、奪われてきた、と感じていた萱野茂さんは辞書の中でさらにこのように補足しています。

「このことによってどのくらいの民具が持ち去られたものか。この言葉だけは信じないようにしている。」

MEMO



34～37、39の復習

34・ウオシッコテ パ コロ

恋をすると

- ・ テエタ アナクネ ペウレクル ウタラ ウオシッコテ パ コロ
teeta anakne pewrekur utar uosikkote pa kor
昔 ～は 若者 ～たち お互い恋する (複) ～すると

ネユンネユン カ シノツチャオロイタク パ プ ネ ア ワ。
neyunneyun ka sinotcaoritak pa p ne a wa
いろいろして 歌の中の言葉にする (複) もの ～である ～だった ～よ

ずうっと古い時代は若者たちが恋をするといろいろと歌の中へ言葉を入れたものであった。

35・パシクル ハウコロ

カラスが鳴く

- ・ クンネイワノ チセ カ ウン パシクル ハウコロ。
kunneywano cise ka un paskur hawkor.
朝から 家 ～の上 ～へ カラス 鳴く

タント アナクネ ピリカ ヤント エク ナンコロ。
tanto anakne pirka yanto ek nankor
今日 ～は いい 客 来る ～だろう

朝から屋根の上へ鳥が声を出した。今日はいい客が来るであろう。

36・イカラシ ナ!

もったいないなあ!

- ・ タン ペコトペ コスラ クス ネ。
tan pekotope k=osra kusu ne.
この 牛乳 私・～を捨てる ～しますよ

- ・ イカラシ ナ! ナ アク エアシカイ ナンコロ。
ikaras na! na a=ku easkay nankor.
もったいない ～なあ まだ 人・～を飲む ～できる ～だろうに

・この牛乳捨てるよ。

・もったいないなあ! まだ飲めるだろうに。

・ アイヌ イタク アナクネ ラマツ コロ ワ
 aynu itak anakne ramat kor wa
 人間 言葉 ～は 魂 ～を持つ ～して

コエトゥレンノ ケマ コロ ペコロ パラ コロ ペコロ
 koeturenno kema kor pekor par kor pekor
 ～と合わせて 足 ～を持つ ～かのように 口 ～を持つ ～かのように

イタクラマツ シネンネ アプカシ ペ ネ ルウエ ネ ワ
 itakramat sinenne apkas pe ne ruwe ne wa
 言葉の魂 一人で 歩く もの ～である なのだよ

人間の言葉というものは魂を持っていて、それとともに足があるように、口があるように、言葉の魂がひとりで歩くものなのだよ

・ 「ネンカ アヌン アコロ イコロ ホク ルスイ コロ
 "nenka anun a=kor ikor hok rusuy kor
 誰か よその人 私・～を持つ 宝 ～を買う ～したい ～すると

シリ エシニウカ ワ ネ ナンコロ クス アエイヨク ペ ネ
 sir esiniwka wa ne nankor kusu a=eyyok pe ne
 土地 ～に飽きる ～して ～になる ～だろう ～なので 私・～を売る こと ～である

シコロ オンネクル ウタラ ハウエオカ ヒ クヌ プ ネ
 skor onnekur utar haweoka hi ku=nu p ne
 ～と おじいさん ～たち 言う(複) ～したこと 私・～を聞く こと ～である

・誰か他人が私が持っている宝物を買いたいという。このことは宝物がこの土地に飽きたからであろうから売るものだと、老人たちが言っていたのを聞いたことがある。

アイヌ語ラジオ講座収録CD等貸出しについて

1. 利用時間

(公財) アイヌ民族文化財団：午前9時～午後5時（月～金）
アイヌ文化交流センター：午前10時～午後6時

2. 休業日

(公財) アイヌ民族文化財団：土・日曜日、祝日、年末・年始（12月29日～1月3日）
アイヌ文化交流センター：月・日曜日、祝日の翌日、年末・年始（12月29日～1月3日）

3. 申込手続から受取

裏面の申込用紙を当公益財団またはアイヌ文化交流センター事務局に提出いただき、手続きが完了しましたら、収録CD等をお送りします。

また、送料は利用者負担としておりますので、送料分の切手を同封いただくか、または料金着払いにてお送りします。なお、切手を同封される場合には料金を下記までお問い合わせください。

4. 期間

申込みの日から14日以内に返却してください。

5. お問い合わせ先

(公財) アイヌ民族文化財団

〒060-0001
北海道札幌市中央区北1条西7丁目
プレスト1・7（5階）
TEL. (011) 271-4171 FAX. (011) 271-4181
e-mail : ainu@frpac.or.jp

アイヌ文化交流センター

〒104-0028
東京都中央区八重洲2丁目4番13号
ユニゾ八重洲2丁目ビル（3階）
TEL. (03) 3245-9831 FAX. (03) 3510-2155
e-mail : acc-tokyo@frpac.or.jp

貸出申込書

*申込番号					申込日	平成	年	月	日				
*返却期日	平成	年	月	日	*返却日	平成	年	月	日				
住所	〒 ー				氏名								
年齢	才	性別	男・女	職業									
連絡先	電話：				FAX：								
	電子メール：												
希望地域 ○で囲んで ください。	平成10年度	札幌	千歳	平取	旭川	種類 ○で囲んで ください。	・カセットテープ （平成10～11年度） ・CD （平成12～30年度） 30年度に関しては、 放送終了回のもののみ 貸出しとなります。						
	平成11年度	白老	釧路	登別	静内								
	平成12年度	白糖	浦河	鶴川	帯広								
	平成13年度	白老①	白老②	登別①	登別②								
	平成14年度	白糖①	白糖②	鶴川①	鶴川②								
	平成15年度	平取①	平取②	平取③	平取④								
	平成16年度	旭川①	旭川②	旭川③	旭川④								
	平成17年度	静内①	静内②	静内③	静内④								
	平成18年度	様似①	様似②	様似③	様似④								
	平成19年度	平取①	平取②	平取③	平取④								
	平成20年度	旭川①	旭川②	旭川③	旭川④								
	平成21年度	静内①	静内②	静内③	静内④								
	平成22年度	白老①	白老②	白老③	白老④								
	平成23年度	旭川①	旭川②	旭川③	旭川④								
	平成24年度	鶴川①	鶴川②	鶴川③	鶴川④								
	平成25年度	浦河①	浦河②	浦河③	浦河④								
	平成26年度	平取①	平取②	平取③	平取④								
	平成27年度	石狩①	石狩②	石狩③	石狩④								
	平成28年度	十勝①	十勝②	十勝③	十勝④								
	平成29年度	白老①	白老②	白老③	白老④								
	平成30年度	平取①	平取②										
特記事項													

注1 *印の箇所は記入しないでください。 注2 団体による申込みの場合には、代表者の氏名、住所等を記入してください。

リスナーのみなさまへ

「アイヌ語ラジオ講座」をお聴きいただきありがとうございます。この講座は、初心者向けのアイヌ語やアイヌ文化講座として放送しています。この講座の必要性やあり方などを検討するにあたり、みなさまのご意見、ご感想などをお聞きするものです。下記の質問について、該当の番号を○で囲み、その他のご意見などをご記入の上、お送りください。

のりしろ
(キトリ)

※キトリ線を切り取って、封筒にしてご郵送ください。
※封筒を作る際はのりしろをセロハンテープ等でしっかりと貼り合わせてください。

アイヌ語ラジオ講座アンケート

(年齢 才 男・女)

I この講座についてお尋ねします。

この講座をなにして知りましたか。

問1 ①ラジオ ②新聞 ③ホームページ ④ポスター・チラシ ⑤アイヌ語教室 ⑥その他 ()

この講座を何回くらい聴いていますか。

問2 ①月に1回 ②月に2~3回 ③毎週 ④その他 ()

この講座をいつ・どのような方法で聴いていますか。

問3 ①日曜日の本放送 ②土曜日の再放送 ③放送を録音して ④ホームページ ⑤貸出しテープ・CD

この講座の放送時間(15分間)について、どう思われますか。

問4 ①もっと短く () 分位 ②このままで良い ③もっと長く () 分位

この講座の内容について、どう思われますか。

問5 ア)「会話」「今日の言葉」について
①わかり易い ②普通 ③わかりにくい ()

イ)「単語」について

①わかり易い ②普通 ③わかりにくい ()

ウ)「コラム」について

①わかり易い ②普通 ③わかりにくい ()

テキストの内容について、どう思われますか。

問6 ①もっと易しく ②このままで良い ③もっと詳しく ()

II これからの講座のあり方についてお尋ねします。

この講座をラジオで放送することについて、どう思われますか。

問7 ①続けてほしい ②どちらとも言えない ③やめても良い

現在の内容のほか、どのような話を聴きたいですか。

問8 ①アイヌ語を学ぶきっかけなどの体験談 ②アイヌ文化に関わる体験談 ③地域のアイヌ語・文化に関わる活動の紹介
④その他 ()

「アイヌ文化の紹介」で取りあげてほしいテーマはありますか。

問9 ①ある a地名 b歴史 c歌・踊り d口承文芸 e儀礼 f工芸 gその他 () ②ない

III その他のご意見があればお聞かせください。

(平成30年3月発行分)

のりしろ

(キトリ)

※キリトリ線を切り取って、封筒にしてお送りください。

※封筒を作る際はのりしろをセロハンテープ等でしっかりと貼り合わせてください。

(キリトリ)

(キリトリ)

料金受取人払郵便

札幌中央局
承認

7312

差出有効期限
2020年3月31日
まで
●切手不要

0608788

201

札幌市中央区北一条西七丁目プレスト1・7 5階

公益財団法人アイヌ民族文化財団

アイヌ語ラジオ講座担当者 行



(キリトリ)

(キリトリ)

会員募集のお知らせ

『賛助会員』を募集しています。

国及び北海道からの財政的な支援をいただいておりますが、法律の趣旨を踏まえ多様な事業を展開していくために運営基盤の確立が重要であります。

このため、地元北海道はもとより、全国の個人、団体や企業の方々から、幅広くご支援をいただくことが大切であると考えております。

つきましては、このような趣旨をご理解の上、賛助会員としてご入会くださいますようお願い申し上げます。

年会費

■法人・団体／一口2万円

■個人／一口5千円

※各一口以上です。

賛助会費の使途

皆様からの会費は、アイヌ文化に関する書籍、写真、ビデオ等のライブラリーの整備など当公益財団の自主事業の充実のためにあてられます。

会員の特典

会員の皆様には、次のような特典があります。

- ・当公益財団が発行する刊行物等の無料配布

●寄付金税額控除について

当公益財団は、平成25年12月に国から「税額控除に係る証明書」の交付を受けておりますので、所得税を納付している場合、確定申告に必要書類を添付することで、所得税や住民税から一定額が控除されます。

平成30年度「アイヌ語ラジオ講座」テキスト Vol.3

発行年月 平成30年9月

編集・発行 公益財団法人アイヌ民族文化財団